

事 務 連 絡

平成30年 4月 2日

ブロック長 各位

日本ミニバスケットボール連盟
審判規則委員長

J B Aプレイコーリング・ガイドライン（20180201）適用に伴う
平成 30 年度全国審判長会議における確認事項について（報告）

平素より、当連盟の事業推進にあたり、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、J B Aプレイコーリング・ガイドライン（20180201）の適用について、平成 30 年 3 月 29 日開催のブロック長会議において確認事項とさせていただいた件につきまして、平成 30 年 3 月 31 日及び 4 月 1 日に開催された平成 30 年度全国審判長会議において、次のとおり確認がとれましたのでご報告させていただきます。

つきましては、ガイドラインの適用にあたり、貴管下都道府県ミニバスケットボール連盟所属審判員への周知について、ご対応くださいますようお願いいたします。

J B Aプレイコーリング・ガイドライン（20180201）適用における確認事項

5. アンスポーツマンライクファウル

(4) ラストプレーヤーシチュエーション

- ① パスミス・パスカット等があってもボールコントロールが変わっていない場合のファウルは N F。ただし、ボールにプレーせず正当なバスケットボールのプレーでないと審判が判断した場合は U Fとする。

【確認事項】

・ボールコントロールが変わっていないため、オフェンス側の NF となることから、JBA 競技規則ではチームファウルによるフリースローは適用されないが、ミニバスケットボールにおいては、競技規則どおりチームファウルによるフリースローが適用される。

(5) ラスト 2 ミニッツシチュエーション

【確認事項】

・ミニバスケットボールの競技規則では、第 4 ピリオドもしくは各延長ピリオド残り 2 分間において、シュートが成功した後、タイマーが止まることはないが、残り 2 分を切った時点からガイドラインを適用することとする。